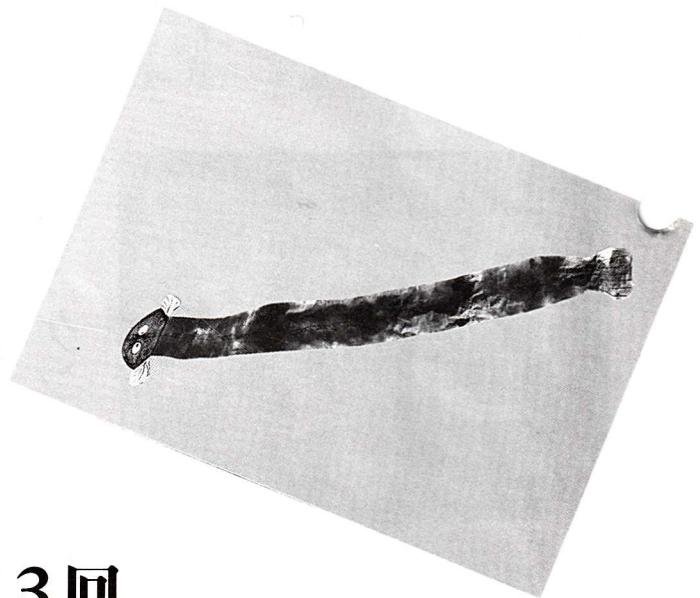


荻田町青少年育成町民会議だより



# すたすたが

No. 10. 1993年 (平成5年) 3月25日



## 第3回 風揚げカーニバル

去る一月二十四日、第三回「風と遊ぶ 風揚げカーニバル」が向山公園でありました。

今回もあいにく風があまりありませんでしたが、友だち同志、親子づれなど約四百五十名の参加者は、会場内をところせましと走りまわり、手作り風や市販の風で風揚げを楽しんでいました。

また、会場の横では、かんだレクリエーション研究会により、ぜんざいの無料サービスがあり、皆さんあつあつのぜんざいに舌鼓を打っていました。

一方、会場内では「風の病院」が開設され、風の修理で大忙しでした。



# 家庭部会が初のシンポジウム

テーマは  
「子と親のねがうもの」



町民会議家庭部会（坂本和己部会長）では、昨年の十一月二十八日に中央公民館大ホールで、「子と親のねがうもの」をテーマに、シンポジウムを開きました。今、子どもたちや親が家庭の中で、何を考え、求め、願っているのか、また、何をすべきなのかを、本音で話し合おうと初めて企画されたものです。

パネリストは、中学生を代表して、松田愛子さん（荻田中学）と猪本聡さん（新津中学）、父親

代表の山下秀明さん（荻田中学PTA）、母親代表の石田正枝さん（新津中学PTA）。コーディネーターの河角英雄田川市参写、助言者の後藤正男町社会教育指

導員を加え、それぞれの立場から体験に基づいた提言がなされました。会場には、中学生を持つ親や町民会議の会員ら約二百五十人

が参加。家庭の中での親子のふれあいやかかわりが大切であることが再認識されたようです。

## 荻田町より19名が入賞！

平成4年度県子連主催  
健全育成ポスターコンクール

健全育成部会（上田哲也部会長）では今年も福岡県子ども会連合会主催による健全育成ポスターコンクールに各小中学校を通じて募集を呼びかけたところ

多数の応募がありました。県の選考の結果、入賞者30名が発表されました。このうち荻田町の入選者は昨年の15名を上まわる19名の入選をみました。

入選者は次の方々です。  
（敬称略）

県教育委員会賞

金賞 司城 祐美（与原小四年）  
銀賞 吉川 亜稀（新津中二年）  
銅賞 打田 理恵（新津中二年）  
藤岡 郁江（新津中二年）  
石井 絵美（与原小五年）  
大田 千春（新津中二年）  
遠田 文美（荻田中一年）  
中原あやか（南原小二年）  
佳作 中園 綾（片島小二年）

佳作 来宝 丈宜（荻田小二年）

山岡 由奈（南原小三年）  
前田 亜希（南原小四年）  
山口美知子（片島小六年）

佳作 市 美由紀（新津中二年）  
前田 雄一（新津中二年）  
玉井裕美子（新津中二年）  
松本 明子（新津中二年）  
内田 日和（新津中二年）  
駒田麻里子（荻田中三年）  
以上の方々は三月二十一日に福岡市の県立美術館において授賞式が行われました。

## 荻田ライオンズクラブより ゼッケン二百枚の寄贈が



一月二十日、荻田ライオンズクラブ（尾崎美夫会長）より、町民会議へゼッケン二百枚の寄贈がありました。

ゼッケンは青地に白で1番から200番までの番号が入っているもの（写真）で、さつそく一月二十四日の風揚げカーニバルで使用しました。今後もうォークラリー大会など町民会議主催のイベントで使用します。



## 不良行為少年補導状況

行為 年度	喫 煙	飲 酒	薬物 乱用	暴走 行為	家 出	深夜 徘徊	怠 学	不健 全性	そ の 他	合 計
平 2	471	40	124	34	14	341	34	0	62	1120
平 3	822	28	185	45	2	325	53	0	63	1323
平 4	430	15	73	29	1	295	30	0	29	902



# 中学生の非行が過半数を占める

## 京都・行橋地区の青少年非行概況

このほど、行橋警察署より平成四年の青少年の非行に関する概況が発表されました。  
少年非行は前年に比べ減少していますが、自転車盗、オートバイ盗が増加傾向にあります。また、中学生の非行が全体の過半数を占め、年齢では十四歳がピークです。

## 初発型非行

行為 年度	万引き	自 転 盗 車	オート バイ盗	占 有 離脱物 横 領	合 計
平 2 年	2 7	1 4	8 1	4	1 2 6
平 3 年	3 8	2 6	8 9	1 1	1 6 4
平 4 年	2 4	3 0	9 6	9	1 5 9

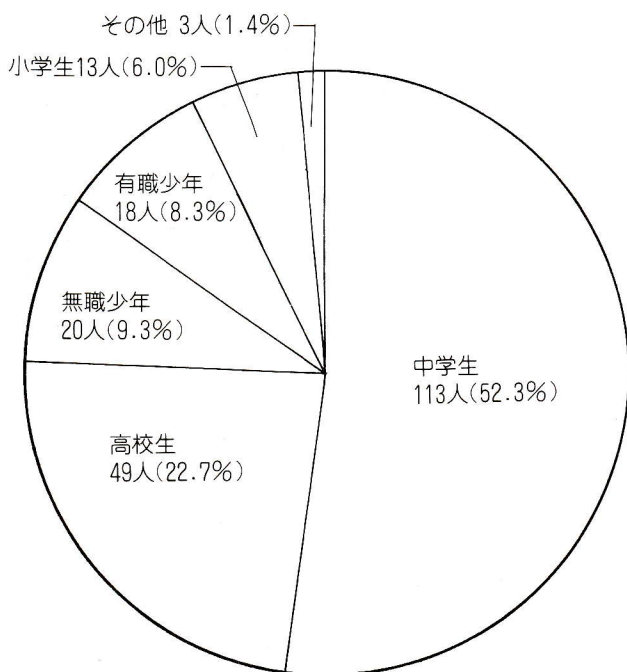
## ※不良行為少年

犯罪少年、触法少年、ぐ犯少年に該当しないが、飲酒、喫煙、家出、その他自らまたは他人を害する行為をしている少年をいいます。

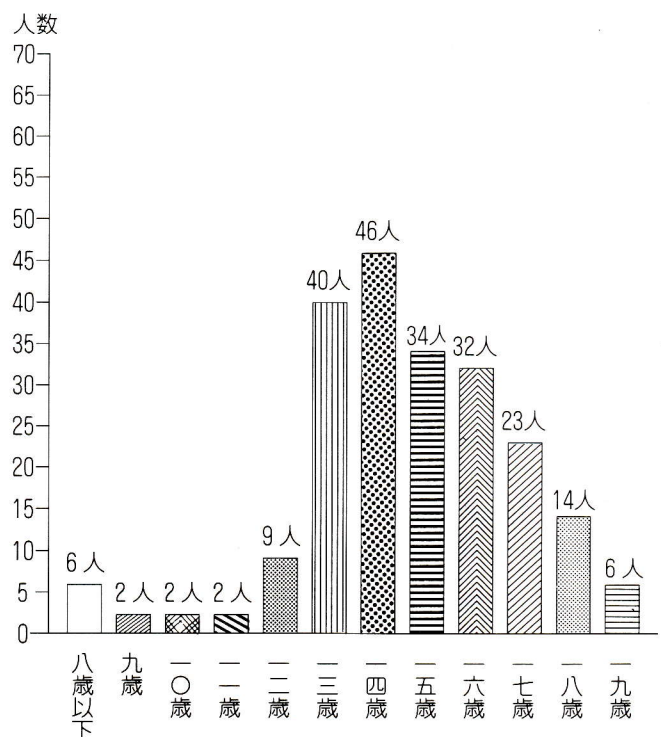
## ※初発型非行

動機が単純で、非行の手段も比較的容易な万引きや自転車・オートバイ盗および占有離脱物横領を総称した非行をいいます。そのまま放置すると、常習化・集団化しやすく、粗暴犯や薬物乱用などの非行への入口にもなります。

学職別非行概況(合計216人 100%)



年齢別非行概況



# 青少年相談Q&A

青少年教育相談室に寄せられた相談ケースの中よりあげてみました。

Q

「登校刺激はしてはいけない」とよく専門家の方は述べられていますが親としてどのように子どもに対応したら良いのでしょうか。

A

登校拒否というのは、その子どもが現在おかれている「症状」であり「現象」でありますから子どもへの対応を考えるとき、その子どものかかえる心の問題の内容の違いにより対応の方法が根本的に異なることを知ってほしいと思います。

現在問題になっている登校拒否の子どもの心の問題を考えるとき、いろいろ診断名があるようですが、子どもの問題を理解するとき大切なことは、心の問題で悩んでいるのがどの範疇に属するかということですが、ほとんどが広義の神経症群（ノイローゼ群）に属する問題のようです。

したがって、「登校刺激」を与えて良いか、悪いかを考えるときに第1のポイントは心の問題の質を見分けることで、第2のポイントは同じ子どもでも時期により状態が変化することも知らなければならないと思います。そういうことから親が子どもとの対応をするとき、子どもの心理（精神）状態が良いか悪いがよく観察して接触する必要があると思います。

本人の状態を的確に判断をして、無理なときはさっと切り上げて方向転換をする心構えが必要で、しつこくしないことです。

それと「登校刺激」を与えるとき、学校と親が一致していることです。要は親子関係、援助する教師、不登校（拒否）を続ける子どもとの三者の人間関係がこじれると失敗におわって長期化させることになると思います。

登校刺激は専門機関ではできにくいし、「学校ならでは」「親子だから」できる援助方法だと思えます。

ご存じですか

家庭の日

みなさんのまわりを見てください。この家庭も、家族のどなたも、それぞれ忙しい毎日を送られていますね。そのため、油断をすると、家庭の中で暖かい結び付きが薄れてきそうです。そこで、月に一日でもいいから、家族みんなでスポーツを楽しんだり、語らいの時間をもつたらいいな、という願いから、毎月第三日曜日を「家庭の日」と決めています。

毎月第三日曜日は  
「家庭の日」です。



—親と子の心がふれ合う  
1日を過ごしましょう—

ご存じですか

オアシス運動

私たちの社会生活にとって基本となる  
四つのあいさつ  
オハヨウゴザイマス  
アリガトウゴザイマス  
シツレイシマシタ  
スミマセンデシタ  
をみんなで進んで交わし合うことによつて、少しでも明るい世の中にしていくという運動です。

悩んでいないで  
気軽にダイヤル

☎436-1152  
青少年教育相談室

編集・発行

荻田町青少年育成町民会議

総務部 会

☎434-1111 内線341

教育委員会では、青少年の健全な育成をと「青少年教育相談室」を開設しています。ご利用ください。  
勉強や進路、友達、家庭や親子関係、子どもの変化、しつけなどの問題解決への手助けのために、まずは、気軽にダイヤルしてください。秘密は固く守ります。

電話相談 毎週水・木曜日

午前9時～午後4時

面接相談 毎月第2・第4金曜日

午前9時～午後4時

三原文化会館

※祝祭日は除きます。